



ローカルメディアと協働する
アートマネジメント人材育成事業

【秋田から国内外に発信】平成25年に開学した秋田公立美術大学。学生たちが豊かな自然と文化資源に恵まれた秋田の風土を活かし、さまざまな芸術の領域を横断しながら「新しい芸術」の表現や価値を生み出す挑戦を続けています。さらに本学では、ここから生まれた芸術を、地域社会と共有しながら国内外へ積極的に発信しようとも試みています。大切なのは、大学から地域にまかれた芸術の種を発芽させ、きちんと育てていくこと。今、その実現のために必要なのが「地域に根ざしたアートマネジメント」の方法論です。【芸術と秋田の人々をつなぐアートマネジメント】 皆さんは「アートマネジメント」という言葉を聞いたことがありますか？アート（芸術）とマネジメント（運営）。簡単に言えば「アートを社会と結び普及させること」です。どんな芸術作品も、鑑賞する人がいなければ、何ものはじまりません。秋田でも、アートマネジメントの活動や概念

I Project	地域課題研究 + ウェブメディア
8/8 (土) シンポジウム	辺境と芸術：アートは「地方」といかに向き合うのか？ アートを支える「都市と地方」(中心と周縁)という枠組みを見直し、地域の未来を考える。 講師：芝山 昌也 (美術家/金沢美術工芸大学准教授) / 土屋 誠一 (美術批評家/沖縄県立芸術大学准教授) / 藤 浩志 (美術家/十和田市現代美術館館長/秋田公立美術大学教授) / 石倉敬明 (人類学者/秋田公立美術大学講師) // 場所：秋田公立美術大学 大講義室 // 時間：15:00～17:30 // 募集定員20名 // 収容定員100名
9/12 (土) ワークショップ型 レクチャー	男鹿半島空き家ツアー 男鹿半島の空き家を見学することから、建築空間の課題と今後のあり方を研究する。 講師：猿田 真 (里山カフェにぎ主宰) / 山本 太郎 (秋田公立美術大学准教授) 場所：男鹿半島一帯 (秋田市発着ツアー) // 時間：9:00～17:00 // 募集定員20名 // 収容定員20名
10/17 (土) ワークショップ型 レクチャー	農民彫刻家:皆川嘉左工門氏とめぐる県南地域の旅 皆川嘉左工門氏が手がける県南の神社、道祖神などを見学しながら生活と芸術を結ぶ地域課題を考える。 講師：皆川 嘉左工門 (農民彫刻家) / 皆川 嘉博 (秋田公立美術大学准教授) 場所：秋田県南地域一帯 (秋田市発着ツアー) // 時間：9:00～17:00 // 募集定員20名 // 収容定員20名
11/7 (土) ワークショップ型 レクチャー	「シェアビレッジ」から始まる新たなネットワーク構築 地域の自然・文化資源をめぐるフィールドワーク。古民家を利用したシェア・ハウスの事例などを見学。 講師：柳澤 龍 (五城目町地域おこし協力隊) / 石倉敬明 (秋田公立美術大学講師) 場所：秋田県南秋田郡五城目町 (秋田市発着ツアー) // 時間：9:00～17:00 // 募集定員20名 // 収容定員20名

II Project	学際的プロジェクト + テレビ
7/13 (月) シンポジウム	アートマネジメントから見る芸術と道徳 芸術を道徳という視点から捉え直し表現の意味について考える。 講師：田中 直人 (放送作家) / 藤 浩志 (美術家/十和田市現代美術館館長/秋田公立美術大学教授) / 毛内 嘉威 (秋田公立美術大学教授) / 有馬 寛子 (秋田公立美術大学美術教育センター) // 場所：秋田駅前アーケード下 // 時間：18:00～20:00 // 募集定員20名 // 収容定員50名
9/14 (月) シンポジウム	美の本質と善(道徳) 善の視点から美の本質を捉え直し、芸術の意味について考える 講師：横山 利弘 (道徳教育/関西学院大学名誉教授) / 吉岡 洋 (美学/京都大学教授) / 田中 直人 (放送作家) / 藤盛 由果 (秋田朝日放送アナウンサー) / 毛内 嘉威 (秋田公立美術大学教授) / 有馬 寛子 (秋田公立美術大学美術教育センター) // 場所：秋田公立美術大学 大講義室 // 時間：18:00～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員100名
10/26 (月) シンポジウム	芸術と道徳 道徳があつての芸術？ 情操教育と芸術の可能性？ 講師：押谷 由夫 (道徳教育/昭和女子大学教授) / 志邨 匠子 (秋田公立美術大学教授) / 田中 直人 (放送作家) / 藤盛 由果 (秋田朝日放送アナウンサー) / 毛内 嘉威 (秋田公立美術大学教授) / 有馬 寛子 (秋田公立美術大学美術教育センター) // 場所：秋田公立美術大学 大講義室 // 時間：18:00～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員100名
11/30 (月) シンポジウム	日本人の道徳と芸術 ～秋田からの発信～ 講師：銭谷 真美 (東京国立博物館長) / 霜鳥 秋則 (秋田公立美術大学学長) / 大谷 有花 (秋田公立美術大学准教授) / 田中 直人 (放送作家) / 藤盛 由果 (秋田朝日放送アナウンサー) / 毛内嘉威 (秋田公立美術大学教授) / 有馬 寛子 (秋田公立美術大学美術教育センター) // 場所：秋田公立美術大学 大講義室 // 時間：18:00～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員100名

受講対象：
アートマネジメントに
興味関心のある方全て
受講料：無料

参加方法
【応募先】

- ▶ 公式ホームページ <http://akibi-plus.jp> より規約を確認されたうえで、事前にメールが郵送でご応募ください。いずれも以下の必要事項を明記してください。
・氏名・生年月日・年齢・住所・メールアドレス・電話番号・簡単な志望動機・希望プロジェクト1～5 (複数選択可)
募集定員…プロジェクトごとの通しでの受講生定員 ※プロジェクトごとに作業や課題が異なります。詳しくは各プロジェクトのページをご覧ください。
収容定員…イベントごとの飛び入り聴講生定員 ※各プロジェクトごとの受講が原則ですが、イベントごとの飛び入り聴講も可能です。※複数プロジェクトの参加も大歓迎です。
※定員に限りがあるプロジェクトは定員に達し次第募集を締め切ります。
- ▶ 応募先 メール▶ akibiplus@akibi.ac.jp 郵送▶ 秋田公立美術大学 AKIBI plus事務局 〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3
- ▶ 問い合わせ先▶ 公立大学法人 秋田公立美術大学 企画課 TEL：018-888-8478

※記載内容は都合により変更になる場合があります。最新情報は公式ホームページをご覧ください。

主催：公立大学法人 秋田公立美術大学

を通じて、アートの魅力や楽しさを人々に発信する「つなぎ手」として、心豊かな創造性の活性化を担い、地域の文化を向上させる人材が求められています。【地域のメディアとアートとのコラボ】AKIBI Plus】平成27年度 大学を活用した文化芸術推進事業「ローカルメディアと協働するアートマネジメント人材育成事業＝AKIBI Plus」では、秋田公立美術大学に所属するさまざまな専門性をもつ教員たちと、秋田市のローカルメディア(ウェブメディア/テレビ/ケーブルテレビ/ラジオ/新聞)がタッグを組みます。暮らしに身近なメディアの視点をとり入れ、秋田という土地に根差したアートマネジメントの方法論を探っていきます。既にアートと地域社会を結び試みは珍しくありません。問われるべき課題は「どのように」アートを取り巻く環境を機能させていくのかということ。本事業では、秋田市内のローカルメディアと協働しながら具体的な方法を学び、アートマネジメントに関わる人材を育てていきます。秋田という30万人都市の規模だからこそ可能なマネジメントのモデルをつくることで、これまでは主に東京から地方へと流れてきたアートの方向性を転換し、地方から他の都市や全世界へと発信することができるのではないかと考えています。

III Project	地域課題応答型 + ローカル アーティスト・イン・レジデンス運営 + ローカル テレビ
7/11 (土) レクチャー・ ワークショップ	AKIBI Pre-AIR Project：ワークショップ「偶然のむすびかた」 安西剛レクチャー、 秋田公立美術大学でアーティスト・イン・レジデンス中のアーティスト・安西剛によるワークショップ。 講師：安西 剛 (アーティスト) 場所：CNA本社内 秋田公立美術大学 ギャラリー BIYONG POINT // 時間：14:00～17:00 // 募集定員10名
10/16 (金) ～ 11/5 (木) 滞在制作公開	AKIBI AIR Project 2015：岩井優 オープン・スタジオ 地域課題応答型AIRの運営を行う。数回のイベントおよびワークショップを予定しており、レジデンスの機能をもつアートを通じた交流スペース・アラヤイチノの改修を行いながら作品制作を実施する。 講師：岩井 優 (美術家) // 場所：アラヤイチノ (秋田市新屋町8-11) // CNA本社内 秋田公立美術大学 ギャラリー BIYONG POINT // 募集定員10名 // 収容定員10名
11/6 (金) レクチャー	レジデンス・アーティスト岩井優レクチャー 地域課題応答型アーティスト・イン・レジデンス事業による滞在制作と成果について、作家本人からの発表を行います。 講師：岩井 優 (美術家) // 場所：CNA本社内 秋田公立美術大学 ギャラリー BIYONG POINT // 時間：18:30～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員30名
11/6 (金) ～ 12/6 (日) 展覧会	岩井優 滞在制作作品による個展 秋田公立美術大学による地域課題応答型AIRで滞在制作された作品を展覧会で公開します。 制作者：岩井 優 (美術家) 場所：CNA本社内 秋田公立美術大学 ギャラリー BIYONG POINT
12/11 (金) レクチャー	県内作家展の企画について ゲストアーティストを県外から招くことと県内の作家を育てることの両立についてのレクチャー。 講師：山本 丈志 (秋田県観光文化スポーツ部文化振興課) / 山本 太郎 (秋田公立美術大学准教授) / 岩井 成昭 (秋田公立美術大学教授) 場所：CNA本社内 秋田公立美術大学 ギャラリー BIYONG POINT // 時間：18:30～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員50名

ローカルメディア協働プロジェクト + ラジオ + ドキュメント

2015年12月～2016年2月
Port観光リサーチセンターのメディアプロジェクト実習およびドキュメント制作実習
2014年に「命の交わる場所——秋田の場合」でローカルメディア協働プロジェクトを展開したPort観光リサーチセンターが展開する新しいメディアプロジェクトに参加すると同時に、プロジェクトのドキュメントを制作し、社会に発信する。講師：Port観光リサーチセンター/高山 明彦(出演アーティスト)/林立 騎(翻訳者/リサーチャー)/相馬 千秋 (アートプロデューサー)/影山 裕樹(編集者) /田中 沙季(制作者/リサーチャー)/猪股 剛(プロジェクト・アドバイザー)
場所：秋田公立美術大学および秋田市内各所 // 募集定員各10名 // 収容定員各10名

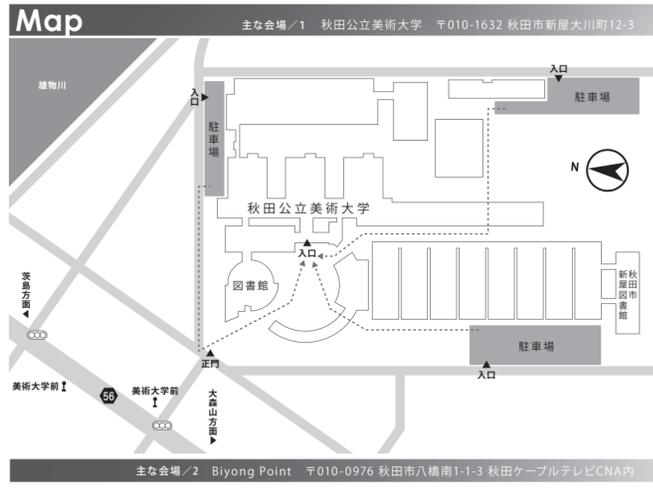
地域における芸術文化活動の評価基準 + 新聞

2016年1/14 (木) 地域特性に対応する文化事業の評価基準 I ～アートの自立
助成金に頼らず地域における芸術文化活動を継続する方法について考える。講師：太下 義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング) / 穂積 恒(ウズキューブ理事) / 矢津 吉隆(美術家/アートホステルクマダグス代表) / 小杉栄次郎(秋田公立美術大学准教授) 場所：秋田公立美術大学 大講義室 // 時間：18:00～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員50名

2016年1/21 (木) 文化事業の評価基準の現在
国内の文化・芸術活動の評価基準の現状と課題点を確認する。講師：熊倉 純子(東京藝術大学教授) / 若林 朋子(プロジェクト・コーディネーター/プランナー) / 志邨 匠子(秋田公立美術大学教授) 場所：秋田公立美術大学 大講義室 // 時間：18:00～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員50名

2016年2/4 (木) 地域特性に対応する文化事業の評価基準 II ～ローカルメディアの視点
ローカルメディアの視点から、地域における芸術文化活動の評価基準について考える。講師：千葉尚志(秋田経済新聞) / 山崎宗雄(秋田朝日放送) / 岩井成昭(秋田公立美術大学教授) 場所：秋田公立美術大学 大講義室 // 時間：18:00～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員50名

2016年2/9 (火) 地域特性に対応する文化事業の評価基準 III ～アートプラクティスの視点
アートプラクティスの視点から、地域における芸術文化活動の評価基準について考える。講師：桂 英史(東京藝術大学教授) / 服部 浩之(キュレーター) / 林立 騎(東京藝術大学特任講師) 場所：秋田公立美術大学 大講義室 // 時間：18:00～20:00 // 募集定員10名 // 収容定員50名



主な会場 / 1 秋田公立美術大学 〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3

主な会場 / 2 Biyong Point 〒010-0976 秋田市八橋南1-1-3 秋田ケーブルテレビCNA内